

有限会社吉松テント

中・大型テントの加工技術の確立と生産性の向上を図る

自動裁断機及びグロメット自動打ち機、自走式溶着機等の設備を導入することにより、これまで製造することができず外注していた大型テントや、現在の設備で苦勞して製造している中型テントを常時製造できる体制を作るとともに生産性の向上を図る。



テントの可能性を広げる施工例



テニスコート用ドームに高透光膜材を施工



中型テント倉庫の施工例



遮光ネット施工例

中型テント施工例 他

事業のきっかけや目的

個人商店が激減し、主軸としていた軒先テントや巻上げテントの製造数も激減し、一方では材料となるテント布地の強度や表面処理が進歩し、各地ドーム、屋内プールや体育館など大空間建築物の天井の屋根や壁材、工場内の仕切りに使用されており、大型化に対応することが目的である。

事業の取り組み内容と成果

自動裁断機導入により裁断作業、採寸ライン引きを短時間に大量に行うことが可能になった。自走式溶着機導入により溶着作業を省力化、リードタイム短縮、さらに折りジワの解消等品質向上することができた。グロメット自動打ち機の導入では、10倍程度のスピード加工が可能となり、製作できなかった大型テントの製造が可能になった。

事業化に向けての今後の取り組み

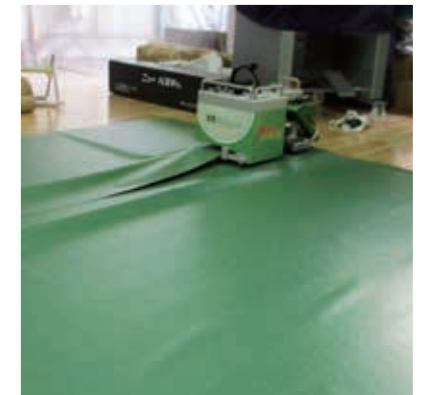
中・大型のテント市場は一部の大手テントメーカーの独占に近い状態ではあるが、その市場における製品は多岐にわたるため、本事業における設備投資を当社の強みとし、その一部分でも受注できるよう積極的に営業活動を展開していく。



自動裁断機



グロメット自動打ち機



自走式溶着機

S・U・Z・U・I・S・H・I・N

創業50年 他にない製品を！

一言で『テント』といっても、屋根や外壁、天井・内張・間仕切り・床であり、看板であり、カバーである。倉庫、クリーンルームであったり、イベント用、キャンプ用、体育マット、遊具など、お客様の要望、当社の創意工夫により、用途は無限大である。当社は、当社独自の製品を、当社の技術により実現し、皆様に必要とされる企業を目指します。

企業 DATA

昭和42年「吉松テント商行」を吉松秀義が個人創業し、鹿児島市、南薩の個人商店を中心に事業展開を始めた。昭和49年に現工場を新設し、平成2年に「有限会社 吉松テント」に社名変更し法人化した。事業範囲も九州南部一円、個人から大手企業まで広がっている。



社屋外観

事業者	有限会社吉松テント
代表者	代表取締役 吉松 真一
設立年月日	平成2年
所在地等	〒891-1231 鹿児島市小山田町90番地 TEL 099-238-2230 FAX 099-238-2231 E-mail yoshinko@orange.plala.or.jp
資本金額	300万円
従業員	5名
業種	繊維工業(テント・シート製造業)